

実践内容

Ⅰ 令和5年度・令和6年度 授業実践のあゆみ

	内 容
(令和5年度)	
5月 8日	下津第二中学校道徳研究部会 立ち上げ
5月25日	下津第二中学校道徳研究部会 ・年間の取り組みについて、プランニングシートを用いた公開授業と参観について検討
6月30日	管理職1名、教諭1名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
7月20日	和歌山県教育委員会からの生徒対象道徳アンケート 実施
7月27日	現職教育 ・海南市 Manabi Up 研修講座の受講 ・先進校視察の伝達講習 ・生徒対象道徳アンケートの分析・報告
8月17日	下津第二中学校道徳研究部会 ・道徳科の授業を進めるにあたって共通認識(方向性)の検討 ・今後の計画を立案
8月29日	下津第二中学校道徳研究部会 ・道徳科の授業を進めるにあたって共通認識(方向性)の検討・決定 ・カリキュラム(別葉)作成にあたっての検討
9月12日	下津第二中学校道徳研究部会 指導案検討会
9月20日	和歌山県教育委員会、海南市教育委員会 指導主事訪問・指導案検討会議 ・紀北教育事務所学校指導課 中山拓指導主事 ・和歌山県教育庁学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事
9月29日	教諭2名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
10月11日	教諭2名が愛知県みよし市立南中学校へ視察
10月18日	3年 A 組 研究授業・研究協議 「心にしみこむ“言葉”の力」(東京書籍)【(B(9)相互理解・寛容)】 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・紀北教育事務所学校指導課 登地真由美指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事
11月 7日	3年 A 組 研究授業「高く遠い夢」 ・教育講演会と関連付けた授業研究
11月14日	3年B組 研究授業「高く遠い夢」 ・教育講演会と関連付けた授業研究
11月22日	海草地方道徳教育研究発表会に全教員が出席
11月29日	下津第一中学校及び下津第二中学校の統合を見据えた道徳科の共通年間指導計画 の検討会議
12月15日	管理職1名が愛知県みよし市立南中学校へ視察
12月22日	下津第二中学校独自生徒道徳アンケート 実施

1月15日	下津第二中学校独自教職員道徳アンケート 実施
1月31日	2年B組 研究授業・研究協議 「自分を信じて生きるとは・・・ 本当の私」(東京書籍) 【D(22)よりよく生きる喜び】
	・和歌山県学校教育局義務教育課 大堀和美課長 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校、和歌山市立明和中学校 紀の川市立荒川中学校、紀の川市立粉河中学校 参加
2月13日	海南市立第三中学校での師範授業・研究協議に校長、教諭1名が出席 ※全教員がプランニングシートを作成し、年間2回の公開授業を実施
(令和6年度)	
4月3日	現職教育 ・昨年度の研究報告 ・道徳科の授業の進め方の伝達講習
4月19日	3年B組 研究授業・研究協議 「スイッチ」(東京書籍)【A(1) 自主、自律、自由と責任】 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校
5月1日	現職教育 ・研究授業の振り返り ・道徳科授業の実践について共通認識、別葉の作成について報告
5月22日	現職教育 ・指導案検討会議
6月5日	1年A組 研究授業・研究協議 「席替え」(東京書籍)【C(11) 公正、公平、社会主義】 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校
6月28日	教諭2名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
7月22日	下津第二中学校独自生徒道徳アンケート 実施
7月31日	現職教育 ・1学期の道徳科授業、研究授業、道徳実践の振り返り ・先進校視察の講習伝達 ・各部会での研究内容の確認
8月2日	下津第二中学校独自教職員・保護者道徳アンケート 実施

8月28日	現職教育 ・研究経過の報告会
9月11日	道徳指導案検討会議
10月9日	現職教育 ・研究発表にむけた取り組み
10月16日	2年A組 研究授業・研究協議 「左手でつかんだ音楽」(東京書籍)【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・研究協力校 4名
10月23日	現職教育 ・10月16日の研究授業の振り返り ・道徳研究発表会に向けた取り組み
10月30日	現職教育 ・道徳研究発表会に向けた取り組み
11月1日	近畿中学校道徳教育研究大会に教諭1名が出席
11月20日	道徳教育研究発表会

令和5年度実践

第3学年道徳学習指導案

令和5年10月18日（水）第5校時

指導者 中村 宗稔

1 学 年 3年A組（男子13名 女子9名 計22名）

2 主題名 「コミュニケーションの原点を見つめて」

3 教材名 「心にしみこむ“言葉”の力―池上 彰」（新訂新しい道徳3（東京書籍））

4 ねらい

人に気持ちを伝えたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することを通して、お互いにより良い関わり方ができるように、人それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に学び、広い心を持つようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

B（9）「相互理解、寛容」（B主として人とのかかわりに関すること）

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は明るく素直な生徒が多く、生徒同士の人間関係は概ね良好で、多くの生徒が他人への配慮や思いやりの心を持って、よりよい社会の実現を目指した行動を心がけているように思われる。しかし、本校は幼い頃から同じ小学校で過ごしてきた生徒も多いため、人間関係の輪が小さく、親しさゆえに友人に対して失礼な態度をとる生徒もいる。中学生だからこそ、日頃自分がどのような関わり方をしているか俯瞰的に見直して、心にゆとりを持って相手の意見を聞くことで、自分の意見が広がる良さを実感し、他人の意見を受け入れられないときの自身の弱さを理解できるようにしたい。

(3) 教材について

この教材は、メディアで活躍している池上彰氏が報道記者として経験してきたことをもとに、「伝える」ことの難しさや大切さについて述べたものである。他者との関わりの中で多様な考えに触れることで、自分の考えの狭さに気づき、他者の立場や考えを尊重することの必要性を感じられる教材である。

メディアで活躍する池上彰氏の経験をもとに、コミュニケーションについて考えさせる。授業では、生徒の意見をもとに話し合いを進め、道徳的価値に近づいていきたい。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・ 予想される児童の反応)	・ 指導上の留意点 (★ 評価)
導入 5分	1. 「人との関わり方で大切なことは？」について考える。 ○「人との関わり方で大切なことは？」を考えさせる。 ・ 口調 ・ 視線 ・ 表情 ・ 会話 ・ 相手の気持ちや考え方を分かってあげる	・ ペアで話し合わせる。
展開 40分	2. 「心にしみこむ“言葉”の力—池上 彰」を読む。 ○池上彰氏の伝えたいことは何か？ ・ “分からないこと” を分かってあげる ・ 感情をぶつける前にまずは相手の話を聞くこと ・ 感情を出すことも大切 ◎なぜ、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるために大切なのか？ ・ 相手の状況や立場を考えるため。 ・ 自分のことをどこまで理解しているか知るため。 ・ 相手の理解に合わせて話をするため。 3. 自身の実体験から人との関わり方を振り返り、相互理解の難しさや人の弱さへの考えを深める。 ○『人に何かを伝えることの難しさを感じた時はどんなとき？』 ・ 部活で後輩に教えるとき ・ 体育祭の練習で種目の説明やパフォーマンスの振り付けを教えたとき ・ 数学の授業での学び合い活動のとき 4. 「人との関わり方で大切なことは？」について考える。 ○「人との関わり方で大切なことは？」を考えさせる。 ・ 相手と自分の良さを知っておく ・ お互いに心の弱さを持っているということを知っておく ・ 常に心のゆとりをもって客観的に物事を捉える ・ 自分をさらけ出すことで自分を知っておいてもらう。	○口頭で確認する。 ○個人で考えた後、ペアで話し合い、意見を深める。 ○自分事として考えられるように、実体験を口頭で聞いていく。 ○弱さの原因を考え、班で意見交換をする。 ★弱さを感じ取り、人との関わり方の中でその弱さを乗り越えようと考えられているか。
終末 5分	5. 本時のまとめ 今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。	

7 板書計画

「心にしみこむ言葉」の力 池上彰
 人との関わり方で大切なことは？
 池上彰さんの伝えたいこと

- ・相手と自分の良さを知っておく
- ・お互いに心の弱さを持っているということを知っておく
- ・常に心のゆとりをもって客観的に物事を捉える
- ・自分をさらけ出すことで自分を知っておいてもらう。

↑

- ・頑なに相手の意見を聞かず教え込んだ。
- ・相手を馬鹿にってしまった。
- ・見栄を張って自分を大きく見せた。

↑

- ・自分にも余裕がなかった
- ・自分も焦っていた
- ・納得できなかった
- ・相手の理解度も分かっていなかった

人との関わり方で大切なことは？

- ・相手の状況や立場を考えるため。
- ・自分のことをどこまで理解しているか知るため。
- ・相手の理解に合わせて話をするため。

相手の話をよく聞くこと

なぜ、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるために大切なのか？

- ・ビジネスの話
- 相手の分からないことを分かってあげる
- ・1つ1つ番組の話
- 感情（怒り）をぶつけるのではなく
- 自分の感情を客観的にコントロール
- ・プライベートの話
- 感情を出すことも大事。（冷静さが必要）

道徳『心にしみこむ“言葉”の力——池上 彰』

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

めあて：人との関わり方で大切なことは？

1. なぜ、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるために大切なのか？

《メモ》

2. 人との関わり方で大切なことは？

振り返り（今日の学習で学んだこと考えたことを書こう）

研究授業を終えて【令和5年10月18日(水)中村教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・板書が分かりやすく、生徒の意見を反映することができていた。
- ・コの字型配置の座席と、班で話し合うための座席の使い分け方が適切であった。

【授業者の様子】

- ・教師がファシリテーターとなり、生徒のつぶやきや発言、うなずきに対するリアクションを取る中で、生徒の発言で授業が進められた。
- ・実体験を考えさせる時間をじっくりとることができていた。
- ・教材の確認をスムーズに行うことができていた。

【生徒の様子】

- ・生徒が自分の体験と結びつけて考えることができていた。
- ・積極的に意見を出せていた。

課題

【授業デザイン】

- ・時間配分が不十分で、生徒の振り返りをフィードバックする時間が取れなかった。
- ・主発問は、本時の内容を深めるためのものであり、もっと大事にしたい。
- ・「焦る」「余裕がない」などの弱さを克服することができなかった。そこをもっと深めたかった。
- ・「自分はどうか・・・」という点で、話を進めてしまい、話が教材から離れてしまった。あくまでも教材の中で考え方や生き方を学びたかった。

【授業者の様子】

- ・まとめへの移り方が、生徒主体ではなく、教師主体であった。
- ・最後の発問は自分事として考えられていなかった。
- ・生徒意見の一部を強調していた。
- ・キーワードは教師主体で出してしまうていた。
- ・生徒からの意見の引き出し方をもっと工夫したかった。

【生徒の様子】

- ・クラスメイトの意見に対して、メモを取らずに共感理解をさせたい。
- ・生徒の発表中にワークシートに自分の考えを書き込んでいる生徒がいた。

第2学年道徳学習指導案

令和5年12月19日(火) 第1校時
指導者 大崎 真美

1 学 年 2年B組 (男子11名 女子8名 計19名)

2 主題名 「よりよい社会のために」【C：遵法精神，公德心】

3 教材名 「宝塚方面行き——西宮北口駅」 (新訂新しい道徳2 (東京書籍))

4 ねらい

電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、公共の場での適切な言動を考え、社会の一員として社会全体の視点を持って社会をよりよいものにしていこうとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本題材は、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(10)「遵法精神、公德心」に該当するものである。公德心とは、社会生活をする上での道徳を守り、誰もが住みよい社会を実現しようとする心情や態度などのことを言う。電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、自分自身が公共の場で適切な言動をとっているかどうかを振り返りながら、住みよい社会を実現するためには、社会の一員であるという自覚や、他人への配慮や思いやりを大切にすることをもち、互いの権利を尊重し、義務を果たそうとすることが必要であることを学ばせたい。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は活発な生徒が多く、休憩時間はグラウンドや体育館でサッカーやバスケットボールを楽しむなど、生徒同士の人間関係は良好である。第1回道徳アンケート結果において、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとしている」の項目では、「思う」が2年生全体の56%、「どちらかといえば思う」が41%、「どちらかといえば思わない」が3%、「社会の一員としてよりよい社会を実現するために行動しようとしている」の項目では、「思う」が41%、「どちらかといえば思う」が53%、「どちらかといえば思わない」が6%という回答率であった。この結果より、ほとんどの生徒が他人への配慮や思いやりの心を持ってよりよい社会の実現を目指した行動を心がけているように思われる。一方で、特定の人間関係を大切に自分のことを考える生徒も見かける。また、1学期で取り組んだ生徒総会に向けての話し合い活動では、「校則」に対して自分たちを拘束するものとして反発したり、権利だけを主張したりして、自分の果たさなければならぬ義務をおざなりにする傾向もあった。そこで、「私」を大切にすることと「公」を大切にすることの関係について考え、公共の場での適切な行動について考えを深め、公の中での自分の在り方について気づかせたい。

(3) 教材について

本教材は、電車の座席に鞆を置いて席取りする主人公がおじいさんにいきなり大きな声で怒鳴られたり、周囲の人に白い目で見られたりするという経験を通して、公共の場で適切な言動をとることができるかどうか考えるという内容のものである。

本学級の生徒もこれに似た体験や場面に遭遇していることが考えられる。公共の場で適切な言動をとることができるかどうかについて、自分の言動を振り返り、自分のこととして考えられる教材である。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・ 予想される生徒の反応)	・ 指導上の留意点 (★ 評価)
導入	<p>よりよい社会のために必要なことは何か考えて発表する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>よりよい社会のために必要なことは何だろう。</p> </div>	<p>・ ワークシートへ考えを書かせる。</p> <p>・ 生徒の意見を板書して、後の発問と対比できるようにする。</p>
展開	<p>「宝塚方面行き——西宮北口駅」を読んで話し合う。</p> <p>○おじいさんの行動について、どう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 怒って当然。 ・ いきなり怒鳴るのはよくない。 <p>○最後の一文より、2人はどのようなことに気づいていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのことしか考えていなかった。 ・ 他の人たちへの気遣いがなかった。 <p>○ダメだと分かっているのにしてしまうのは、なぜ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の弱い心に負けてしまうから。 ・ 「心の弱さ」から。 <p>◎これから電車の中で、ミサとマユミはどのようなことに注意していこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「座りたい」「楽したい」という自分の弱い心に負けないで、周りの人のことを考えて行動する。 ・ 自分の行動が他の人の迷惑になっていないか気を付ける。 	<p>・ なぜ私たちはそれができないのか「自分の弱さ」に気づかせ、それに触れながら考えを深めさせる。</p> <p>・ ワークシートへ考えを書かせる。</p>

	<p>「みんなが気持ちよく過ごすための配慮」について考える。</p> <p>○よりよい社会のために必要なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで社会や集団を作っているので、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動する。 ・自分の「弱い心」に負けないで、周りの人たちのことを気に掛けて、思いやりの心を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通している内容は、みんなが気持ちよく過ごすための配慮につながっていることに気づかせる。
終末	<p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへ振り返りを書かせる。 ★よりよい社会のために心掛けることについて今までの生活を振り返り、今後どのように行動すべきか考えを深めている。

7 板書計画

本時のめあて

よりよい社会のために必要なことは何だろう。

「宝塚方面行き」西宮北口駅

- ・税金
- ・UD
- ・思いやり
- ・ルールを守る

おじいさんの行動

- ・怒って当然。
- ・いきなり怒鳴るのはよくない。

『そうじゃないのは二人ともたぶん分かっていた。』

「二人はどんなことに気づいていたのだろう」

- ・自分たちのことしか考えていなかった。
- ・他の人たちへの気遣いがなかった。

ダメだと分かっているのにしてしまうのは、なぜ？

- ・自分の弱い心に負けてしまうから。
- ・心の弱れ「かし」。

「座りたい」「楽しみたい」という自分の弱い心に負けないで、周りの人のことを考えて行動する。

- ・自分の行動が他の人の迷惑になっていないか気を付ける。

よりよい社会のために必要なことは何だろう。

- ・みんなで社会や集団を作っているので、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動する。
- ・自分の「弱い心」に負けないで、周りの人たちのことを気に掛けて、思いやりの心を持って行動する。

めあて

よいよい社会のために必要なことは何だろう。



Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

◎

Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

【振り返り】

Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

研究授業を終えて【令和6年2月19日(月)大崎教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・発問は予め、紙に書いておき、それを提示することで時間短縮につながった。
- ・挿絵を効果的に掲示するなど、生徒が教材内容をイメージしやすい工夫ができていた。

【授業者の様子】

- ・「この調子でどんどん出しましょう」など、生徒の発言を促す言葉かけができていた。

【生徒の様子】

- ・自分の考えを発表することができていた。
- ・積極的に意見を出せていた。

課題

【授業デザイン】

- ・隣の人との交流時は、ワークシートをしまう必要はないが、全体で議論し合う時はワークシートをしまう。
- ・該当学年で何を学ばせたいかをしっかり押さえ、発達の段階に応じた授業計画を立てる。
- ・小さな国語(読み取り)にならないよう教科書に視線を向けさせてしまう問いかけはしない。
(「教科書にはなんて書いてあった?」「教科書の〇〇を見て」⇒×)
- ・教材を利用して主人公の心情を理解し、自分事として考える授業づくりを目指す。
- ・板書計画はしっかりと!(「めあて」⇒「題材名」の順で)
- ・子供たちの発言をもとにより議論し合うことで、考えが広がり、深める授業を(「生き方」を共に問う)。
- ・自分事として考えることができる指示や発問を。

【授業者の様子】

- ・しゃべりすぎない。
- ・指示型授業にならない。
- ・キーワードとなる言葉を生徒に言わせようと、誘導的になってしまった。
- ・生徒たちに手柄を掴ませるよう「すごいね」と褒める。

【生徒の様子】

- ・小さな国語(読み取り)ではないので教科書から答えを探すのではなく、自分事として考え、発言する。

第2学年 道徳科学習指導案

令和6年1月31日（水）第5校時

指導者 南川 俊文

1 学 年 2年B組（男子11名 女子8名 計19名）

2 主題名 「誇りをもって生きるとは……」＜内容項目 D（22）よりよく生きる喜び＞

3 教材名 「本当の私」（新訂新しい道徳2（東京書籍））

4 ねらい

人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもあることを理解し、人間としての誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。

5 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

D（22）「よりよく生きる喜び」（D：主として生命や自然、崇高なものとの関りに関すること）

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや、誇りをもって気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

（2）生徒の実態について

本学級は男子11名、女子8名の計19名で構成されている。何事にも前向きに取り組むことができる生徒が多く、日々の授業においても、落ち着いて学習活動に取り組むことができている。しかし、グループでの話し合い活動になると、積極的に発言する生徒とそうでない生徒との差が激しく、結果として発言力のある生徒の意見に集約されることが多い。積極的に発言できない生徒も、ワークシートなどを見るとじっくりと考えられており、いかに自分の考えに自信をもって他者へ伝えていけるかが課題となっている。

この課題の克服のために、道徳や他教科の授業で、他者の話をしっかりと聞き、自分の考えをしっかりと発言する話し合い活動の時間を多くとってきた。その結果、それまで自分の意見を発言できなかった生徒が、少しずつ自分の意見を発信できるようになってきている。

本学級において、1学期終業式後のホームルームで夏休みの注意事項の話をしたとき、生徒から「ばれなければいいやん」というつぶやきが聞こえた。また、授業中、必要でないときに隠れてタブレットを触っていたり、授業で使ったプリントを教室のゴミ箱に捨てていたりしたことがあり、それらの件の指導中に生徒から「悪いと分かっていたのにしてしまった」という言葉を聞いた。本教材での学習を通して、「ばれなければいい」という考え方を見直すだけでなく、「悪いと分かっていたのにやってしまった」という心の弱さを認識し、その弱さを乗り越え、よりよく生きることのすばらしさを感じさせたい。

(3) 教材について

「よりよく生きる喜び」については、1年次に「銀色のシャープペンシル」という教材で学習している。この教材では、心の弱さと良心との間で葛藤する主人公の姿を通して、「心の弱さを乗り越えるためには、どのようなことが必要だろうか」ということについて考えてきた。本教材では、昨年度の学習をさらに深め、心の弱さを乗り越えた先にある、強さや誇り、気高さに気づかせていきたい。

本教材は、「もう絶対に薬物には手を出さない」と決めた陸上選手のエイミーが、心の弱さから再び薬物に手を出してしまうものの、ドーピングを認める発表を行い、自分自身の弱さを乗り越えて、誇りをもって気高く生きていこうとする話である。人間には、自信のなさや逃げたいという心、ずるい心などの弱さがある。その弱さを克服したところにこそ、誇りをもって強く生きていくことの喜びが生まれるということに気づかせ、自分もつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもたせたい。

そして、結果を出すことができ、黙っていれば、ばれなかったかもしれないドーピングをエイミーがなぜ認め、発表したのかということを考えさせることによって、弱さを克服したその先に、人間としての強さや誇り、気高さがあるということに気づかせたい。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・ 予想される児童の反応)	指導上の留意点 (◇ 評価)
導入 5分	「誇りをもって生きるとは、どういうことか」について考える。 めあて「 誇りをもって生きる 」とは、どういうことだろう。 ・ 自分に自信をもって生きる ・ 様々なことに挑戦して生きる ・ 前向きに元気に生きる	・ 事前に考えていた意見を、ロイロノートを使って全員で共有する。
展開 40分	教師の朗読を聞く 内容を確認する ○ エイミーはどのような気持ちでA社に向かったのだろう。 ・ 練習の成果が出ずに苦しい ・ なんとかして結果を出したい ・ 応援してくれているみんなの期待に応えたい。	話の内容を確認しやすいように、掲示物を提示する。 ・ A社に向かうまで、「薬には絶対に手を出さない」と決めた自分」と、「薬に頼って結果を出したい自分」との間で揺れ動くエイミーについて考えさせる。

補助発問

- エイミーが何度も足を止め、ぼんやりと遠くを見つめたとき、どのような気持ちだったろう。
- ・薬には手を出さないと決めた自分と、薬に頼って結果を出したいという自分の間で悩んでいる。
 - ・自分でもどうしていいかわからなくなっている。
 - ・あと一回だけならいいのではないかと思っている。

補助発問

- どのような気持ちが、エイミーを早足でA社に向かわせたのだろう。
- ・悪いことをしているといううしろめたさ。
 - ・これを最後にしたいという気持ち。
 - ・ばれなければいいという気持ち。

◎なぜ、エイミーはドーピングを認める発表をしたのだろう。

- ・罪の意識でこれ以上苦しみたくない
- ・自分に嘘をつきたくない
- ・正直に生きていたい

補助発問

- レイチェルがエイミーに言った、「本当に大切なもの」とは何だろう。
- ・正直な自分
 - ・薬に頼らない自分
 - ・心の弱さに負けない自分

補助発問

- ドーピングを認める発表から十年余りが経ったエイミーの表情がおだやかなのは、なぜだろう。
- ・自分の弱さを乗り越えられたから。
 - ・正直に生きることができたから。
 - ・ありのままの自分でいられたから。

「誇りをもって生きるとは、どういうことか」について考える。

- ・A社の薬はドーピング検査を簡単にかいくぐれるという情報があったことも押さえさせる。

- ・エイミーの心情の変化に着目させ、自分の弱さを乗り越えようとする強さに気づかせる。

- ・レイチェルの発言からも、エイミーがドーピングを認める発表をしたことについて考えさせる。

- ・自分の弱さを乗り越えることで得られる心の強さや、自分らしく正直に生きることのすばらしさを感じさせる。

	<p>☆「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱い心があることを認識し、それを乗り越えて強く生きていく。 ・自分がダメだと思っていることを絶対にせず、自分のありのままの姿で素直に生きる。 ・自分に負けてしまいそうなときでも、正しく信念をもって生きる。 	<p>◇自分がもつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもっているか</p>
<p>終末5分</p>	<p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	

7 評価について

自分がもつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもっているか。(発言・ワークシート)

8 板書計画

「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう

- ・弱い自分を乗り越えて、強く生きていく。
- ・自分がダメだと思ったことは決してない。
- ・正直にありのままの自分の姿で生きていく。

「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう

- ・自分に自信をもって生きる
- ・様々なことに挑戦して生きる

本当の私

エイミー 陸上世界選手権の金メダリスト

エイミーの力 + 薬の力

もう絶対に薬物には手を出さない！

←

A社に早足で向かった

エイミーはどのような気持ちでA社に向かったのだろう

- ・成果が出ずに苦しい
- ・結果を出したい
- ・期待に応えたい

金メダルを獲得

- ・これを最後にしたい。
- ・ばねなければいい
- ・うしろめたい

なぜ、エイミーはドーピングを認める発表をしたのだろう

- ・罪の意識でこれ以上苦しみたくない
- ・自分に嘘をつきたくない
- ・正直に生きていたい

約十年後のエイミー

おだやかな表情

レイチエル

【本当に大切なもの】

- ・正直な自分
- ・心の弱さに負けない自分

2学年道徳『本当の私』

2年()組()番 氏名()

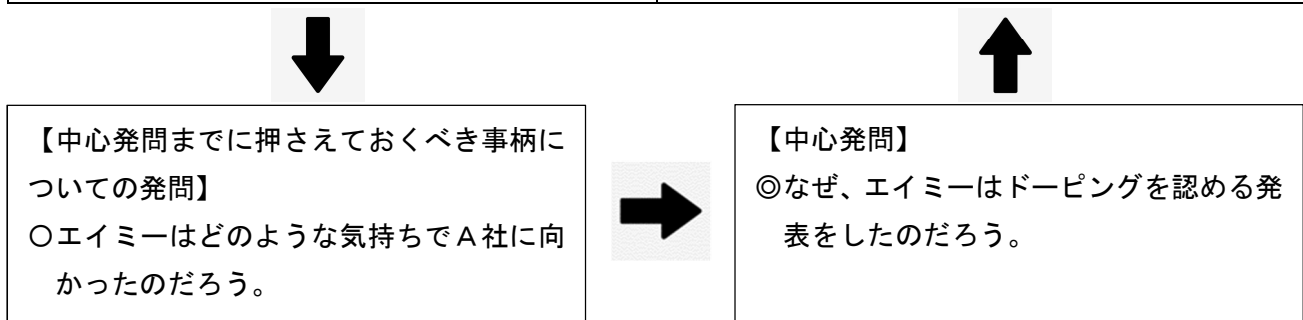
めあて 「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。

振り返り(今日の学習で学んだことや考えたことを書こう)

授業づくりシート

<p>【教材解釈】</p> <p>教材名 本当の私</p> <p>〈ストーリー〉</p> <p>主人公のエイミーは、陸上世界選手権で金メダルを獲得した陸上選手である。金メダル獲得後、コーチから使用していたサプリメントは、ドーピング検査に引っかかる可能性があることを伝えられる。エイミーは、「もう絶対に薬物には手を出さない」と決意するが、その後、足のけがなどもあり、悩みながらも再び薬物に手を出してしまう。その結果、再び金メダルを獲得したエイミーであったが、これは「本当の自分」ではないと感じ、自らドーピングを告白する発表を行い、金メダルを返還した。</p>	<p>【内容項目の解釈】</p> <p>よりよく生きる喜び</p> <p>人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもある。このことを理解し、人間として誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。</p> <p>〈キーワード〉</p> <p>人間誰もが弱さをもっている。しかし、その弱さを乗り越え、克服することこそが、誇り高く生きることや、生きる喜びを感じることに繋がっていく。</p>
---	--

<p>【主題】 よりよく生きる喜び</p>	
<p>【ねらい】</p> <p>人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもあることを理解し、人間としての誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。</p>	
<p>【めあて】</p> <p>「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。</p>	
<p style="text-align: center;">Before</p> <p>○「誇りをもって生きる」とは、自信をもって生きることである。</p> <p>○ばれなければ、悪いと分かっていることもやっつけていい。</p> <p>○周りに迷惑をかけなければ、悪いと分かっていることもやっつけていい。</p>	<p style="text-align: center;">After</p> <p>○「誇りをもって生きる」とは、「自分の弱さを克服して生きることである。</p> <p>○ばれなければいいと思ってやってしまう弱い心乗り越えることが大切である。</p> <p>○周りには関係なく、自分の弱さを乗り越え、正直に、ありのままの姿で生きることがすばらしい。</p>



研究授業を終えて【令和6年1月31日(水)南川教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・時間配分が適当であった。
- ・板書計画が丁寧であった。

【ICTの活用】

- ・無記名のアンケートによる事前調査からの導入が効果的であった。

【授業者の様子】

- ・学習指導要領に沿って、丁寧に進められていた。
- ・教科書やワークシートは机にしまわせる、50分の時間配分を意識する、「めあて」を授業の最初と最後に押さえるなど、様々な工夫を忠実に進めていた。
- ・テンポよく授業が進み、生徒が考える時間が確保されていた。

【生徒の様子】

- ・ほとんどの生徒が自分の意見を発言していた。
- ・授業前と授業後で、生徒の変容が見られた。
- ・発言が特定の生徒に片寄らず、まんべんなく意見が出ていた。

課題

【授業デザイン】

- ・指導案における、「道徳的価値」「ねらい」「教材について」にずれがあり、「めあて」がぶれていた。
- ・教師の計画を進める、指示型の授業となっていた。
- ・「生徒の考えが足りないから授業を行う」という考えではなく、「答えは生徒が内側にもっていて、授業を通してその答えを引き出す」というスタンスで、授業を創らなければならない。

【ICTの活用】

- ・アンケートの内容が、この授業にとって適切でなかった。生徒に「この授業で考えたい」という内容になるような工夫が必要である。

【授業者の様子】

- ・一方的な授業になっていた。
- ・教材の確認は大事であるが、一つ一つ、「どうだった?」「次にどうなった?」と問いかけているので、記憶力を問うような形になっていた。これでは、生徒の表情が硬くなり、級友とコソコソとつぶやく授業にはならない。
- ・発問の焦点がぼやけていて、生徒が何を話し合ったらよいか戸惑っていた。
- ・生徒が「もっと考えたい」と思うような切り返しが必要である。
- ・コーディネータカ、ファシリテータカが足りない授業であった。
- ・感想の交流は議論の場ではないので、ワークシートを伏せさせる必要はなかった。

【生徒の様子】

- ・自分事として、十分に捉えられていなかった。
- ・「弱さ」への共感が足りなかった。

令和6年度実践

第3学年 道徳学習指導案

令和6年4月19日（金）第5校時
指導者 相谷 直佳

1 学年 3年B組（男子11名 女子8名 計19名）

2 主題名 「責任ある行動とは」

3 教材名 「スイッチ」（新訂 新しい道徳3 東京書籍）

4 ねらい

卓球部のキャプテンとしてチーム運営に悩む主人公の姿を通して、自主的な判断のもとに誠実に実行し、その結果に責任を持って行動しようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

A (1) 自主、自律、自由と責任（A主として自分自身に関すること）

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つこと。

(2) 生徒の実態について

中学2年生途中から委員会活動や部活動、学校行事などで、リーダーや委員長、キャプテンを中心に活動する場面が増えてきた。3年生になっても、引き続き自主的に考え、行動する場面が多く求められるようになる。一方で、誰かに頼ってばかりいたり、自分の行為の結果を深く考えず、無責任な行動をしたりしてしまう面もある。その行動に責任を持つことの大切さについては多くの生徒が理解をしているが、その意義まで理解して実際に責任を持った行動ができる生徒は少ない。自らの判断によって望ましい行動をとり、その行動に対する責任を持つことで、生きることへの自信や誇りを持てることに気づかせたい。

(3) 教材について

卓球部のキャプテンを任された絵里は、顧問が入院して不在の中、新しいチーム作りについて思い悩む。そんな中、ライバル校の顧問の一言によって、顧問に頼ってばかりだったことに気がつき、自分たちで考え行動していくことへの決意を固める。

自らの経験と重なることも多いであろう部活動を題材として、自主的な行動とは何かを考えさせることができる教材である。

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>1. 「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>めあて</p> <p>○「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>・(自分で) 言ったことはやる・最後までやりきる・やると決めたらやる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に話し合う時間を確保するために、あらかじめ教材を読んでおく。 ・数名を指名(全体で共有)
展開 40分	<p>2. 内容の確認しながら、絵里の立場に立って考える。</p> <p>○1年生から不満が出始めたとき、絵里は内心どのようなことを考えたのだろう。</p> <p>・先生が作ったメニューだから間違いはないはずなのに</p> <p>・このままでいいのかな ・今の練習で大丈夫?</p> <p>・今のやり方でいいのか不安</p> <p>○「君たちはためられているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。</p> <p>・自分たちが先生に頼ってばかりだと気づいたから</p> <p>・ここが部を立て直すチャンスだと感じたから</p> <p>・何とかしないといけない</p> <p>◎なぜ、スイッチを切り替えようと思ったのだろう?</p> <p>・自分達でもメニューを考えてやってみよう</p> <p>・先生がいなくても頑張ろう</p> <p>・次に向けての準備、心構えをしよう</p> <p>【深めていく】</p> <p>・「自分が正しいと感じて判断したことに自信をもってやっていくために」、について考えさせる。</p> <p>・自ら考えて、より良い判断をして実行することの大切さに気づかせる。</p> <p>・自分で判断した行動には責任が生まれることに気づかせる。</p> <p>3. 「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>○「責任を持って行動する」とは?</p> <p>・自分の力でやり切ったという達成感 ・自分に自信がつく</p> <p>・たとえ失敗したとしても充実感がある</p> <p>・自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。</p> <p>・周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解するため、あらすじをパワーポイントで確認する。 ・自分の言葉で発表できるよう、教材はしまわせる。 ・誠実に実行するとなると周りからの視線が気になり、ごまかしたり、流されたりしてしまいがちになる「弱さ」について考えさせる。 ・主人公の心情の変化に着目させる。 <p>・班で交流する。</p> <p>◇自分で判断した行動には責任が生まれるため、より良い判断をして実行することの大切さに気付くことができる。</p>
終末 5分	<p>4. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートを記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。

7 評価について

自分で判断した行動には責任が生まれるため、より良い判断をして実行することの大切さに気付くことができる。(発言・ワークシート)

8 板書計画



◎なぜ、スイッチを切り替えようと考えたのだろうか？

- ・自分達でもメニューを考えてやってみよう
- ・先生がいなくても頑張ろう
- ・次に向けての準備、心構えをしよう

← 【深めていく】



◎君たちはためされているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。

- ・自分たちが先生に頼ってばかりだと気づいたから
- ・ここが部を立て直すチャンスだと感じたから
- ・何とかしないといけない
- ・今のやり方でもいいの不安

「責任を持って行動する」とは？

- ・自分の力でやり切ったという達成感
- ・たとえ失敗したとしても充実感がある
- ・自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。
- ・周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う。

「責任を持って行動する」について考える

- ・(自分で) 言ったことはやる
- ・最後までやりきる
- ・やると決めたならやる

「スイッチ」

◎1年生から不満が出始めたとき、絵里は内心、どのようなことを考えたのだろうか。

- ・先生が作ったメニューだから間違いはないはずなのに
- ・このままでいいのかな
- ・今の練習で大丈夫？

・自分が正しいと信じていることに対して、自信をもってやってみよう。

・「自分が正しいと信じていることに対して、自信をもってやってみようか」「こつこつと考えさせよう。」

・誠実に実行するとなると周りの視線が気になる。「まかしたり、流されたりしてしまいがちな」弱さ「こつこつと考えさせよう。」

- ・ふり切るつもり
- ・強気で答えながらも、内心でつすれば…

Before	→	After
<ul style="list-style-type: none"> ○ (自分で) 言ったことはやる ○ 最後までやりきる ○ やると決めたらやる 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の力でやり切ったという達成感を得る ○ たとえ失敗したとしても充実感がある ○ 自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。 ○ 周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う



【中心発問までに押さえておくべき事柄についての発問】
 ○「君たちはためされているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。



【中心発問】
 ◎なぜ、スイッチを切り替えようと思ったのだろう？



1 スイッチ (教科書 p.166~170)

学習日 令和 年 月 日

組 番 名前

問い：なぜ、「スイッチを切り替えよう」と考えたのだろう？

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑



振り返り：

↑

↑

↑

↑

↑

↑

研究授業を終えて【令和6年4月19日(水)相谷教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・パワーポイントを使用し、教材内容をスムーズに確認することができていた。
- ・主人公に対し不満が出たときの心情理解のため近くの生徒同士での話し合いは、自我関与を深められてよかった。
- ・コの字型配置の座席の配置により、机を移動させなくてもすぐに話し合いができていた。

【授業者の様子】

- ・序盤、生徒の意見を引き出すために「待つ」という姿勢で、話し合い活動を活性化させる場面があった。

【生徒の様子】

- ・生徒が前向きで誠実な姿勢で授業に参加し、しっかり発言していた。
- ・生徒の態度、発表力、聞く力、読解力など、以前より成長していると感じる。
- ・プリントに書いた意見を見ないで話すことで、自分の考えを相手に伝えることができていた。

課題

【授業デザイン】

- ・コの字型配置の座席の距離をもっと縮め、よりワイワイガヤガヤと話し合いができる環境づくりが必要。
- ・指導案を作成するときに明確なゴールを持つことが大事。「何か」という抽象的な言葉で表現するのではなく、具体的に明記することでゴールが明確になる。そこを明確にし、より議論を深めさせたい。
- ・気づきを与えられるようにするため、学習指導案でめあてなどの書き方に一貫性を持たせる。
- ・指導案の至る所にもその文言を入れておくことで「気付かされる」のではなく、自分たちが考え、「気付ける」ような仕掛けをしていくことが大事。
- ・生徒の心の変容を見取るため、授業の最初と最後の発問は同じにする。
- ・生徒が何を考えたらよいか分からなくなるのは、教師中心の表れであった。授業が深まってきたときの方向性を定めて授業を進めていく。(ねらいに対して)

【授業者の様子】

- ・「待つ」という難しさを実感した。着地点がはっきりしていれば、もっと待つことができ、もっと意見を引き出せる。自走式の授業を目指したい。
- ・キーワードが出ないことで焦ってしゃべりすぎ、出ていない言葉を言わそうと誘導してしまっていた。
- ・自分事として捉えきれずに授業が展開したことで、一番深めたい部分があやふやになってしまった。

【生徒の様子】

- ・プリントに書いた意見を見ないで話すことはできてきたが、自分の考えを相手に伝えるだけで終わってしまっている。プリントを見ていないからこそ相手の考えを聞き、意見のやりとりをしながら議論を深めていくことが大事。

第1学年 道徳学習指導案

令和6年6月5日(水) 第5校時
指導者 楠 祐希

1 学 年 1年A組(男子21名 女子13名 計34名)

2 主題名 「クラスの中での社会正義」差別や偏見のない 公正・公平な態度で

3 教材名 「席替え」(新訂 新しい道徳1 東京書籍)

4 ねらい

主人公が席替えのやり直しを提案した理由を多面的に考えることで、誰もがもっている「自分さえよければいい」という考えや、「周りの言動に納得いかないことがあっても言わない、関わりたくない」という考えに流されてしまう弱い心を理解しつつも、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、さらには自分の成長にもつながるということに気付かせたい。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

C(11) 公正、公平、社会正義(主として集団や社会との関わりに関すること)

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること

中学校に入学して間もない時期には、自己中心的な考え方や偏った見方をしてしまい、他者に対して不公平な態度をとってしまったり、周囲で不公平があっても、多数の意見に同調したり傍観したりするだけで、制止することができないこともある。そうした自分の弱さに向き合い、克服して、問題を解決し乗り越えようとするのが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付かせる。

(2) 生徒の実態について

1年生の生徒たちは、とても素直で元気よく、男女共に仲が良い。物静かな生徒もいるが、一人一人がしっかりと自分の考えをもっており、グループや周りの友達と意見交換することができる。正義感の強い生徒も多く、お互いに注意しあうこともできるが、口調がきつくなっているのが気になることがある。また、状況によっては、自分のことだけを考えて、仲の良い子同士で楽しくやりたいという思いに流され、周りの言動に納得いかないことがあっても、見て見ぬふりをしてしまう弱い部分もある。そのような、みんながもっている思いや弱さを理解しつつも、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付かせたい。

(3) 教材について

中学生にとって友人と過ごすことは大切な意味をもっている。特に仲の良い友人と一緒にいたいという思いが強いことから、学校での生活を左右する大きなイベントでもある席替えは、しばしば子どもたちの本音があらわになる場面である。席替えのやり直しを提案する主人公の姿を通して、誰もがもっている自己中心的な考えや見て見ぬふりをしようとする弱い部分に気付き、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくるという考えが深められる教材である。

6 本時の展開

	<p>学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)</p>	<p>指導上の留意点 (◇評価)</p>
<p>導入 5分</p>	<p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？</p> </div> <p>1. 身の回りの公正・公平について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不公平がないようにする ・決まりやルールを守る ・みんな一緒か、同じか考える 	<p>・数名を指名 (全体で共有)</p>
<p>展開 40分</p>	<p>2. 教材を範読し、内容確認する。→ その後、深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ 再度、席替えを提案したのはなぜだろう？</p> </div> <p>自分の考えをワークシートに書き、その後近くの人と交流する。 〔☆並んで座りたかった人、仕方なく席をゆずった人の気持ちは？〕 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大半の人が自分勝手に席を替わっていた。 ・勝手に席を替わるのは不公平だから。 ・嫌な思いをした人がいたから。 ・席替えした意味がないから。 ・いいクラスにしたいから。 <p>(問い返し) ☆嫌な思いをした人も、好きな友達の上に替わればいいのか？ ☆みんなの都合がよい席に話し合ってみればいいのか？ ☆不公平だったら、ダメなの？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆自分の思いを押し通そうとする人がいるのはどうしてだろう？</p> </div> <p>近くの人と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席替えの仕方に納得がいかないから。 ・自分さえよければいいという弱い心があるから。 ・自己中心的な考えがあるから。 ・自分勝手だなあと思いつつも見て見ぬふりをする空気がある。 <p>【深めていく】(問い返し) ☆自分が楽しく過ごせるのが一番じゃない？ ☆あなただったらどう？ ☆みんな自分の思いを押し通したら、クラスはどうなるかな？ ☆思いを押し通そうとする人はどうしたらいいかな？ ☆どんな集団だったら安心できるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な思いをする人がいない ・きちんと思いを聞いてもらえる ・嫌な事を嫌だと言える ・みんなの問題として考えてくれる 	<p>・小グループで交流する。</p> <p>・自分の言葉で発表できるように教材は裏向けさせ、できるだけワークシートは見ずに発表させる。</p> <p>・全体でわいわいがやがや交流できる雰囲気作りに努める。</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？</div> <p>どんな考えや気持ちが必要だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの思いを大切にできる ・お互いの弱さを理解する ・正しいことが当たり前になる ・集団の中での問題をみんなの問題としてとらえ、解決しようとする ・みんなが平等で、安心できる空気づくり 	<p>◇お互いの思いや弱さを理解し、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることができる</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>3. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p>	<p>・自己評価を記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。</p>

7 評価について

誰もがもっている自己中心的な考えや見て見ぬふりをしようとする弱い部分に気付き、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付く。

(発言・ワークシート)

17-1 席替え (教科書p. 99~103)

学習日 年 月 日
組 番 名前

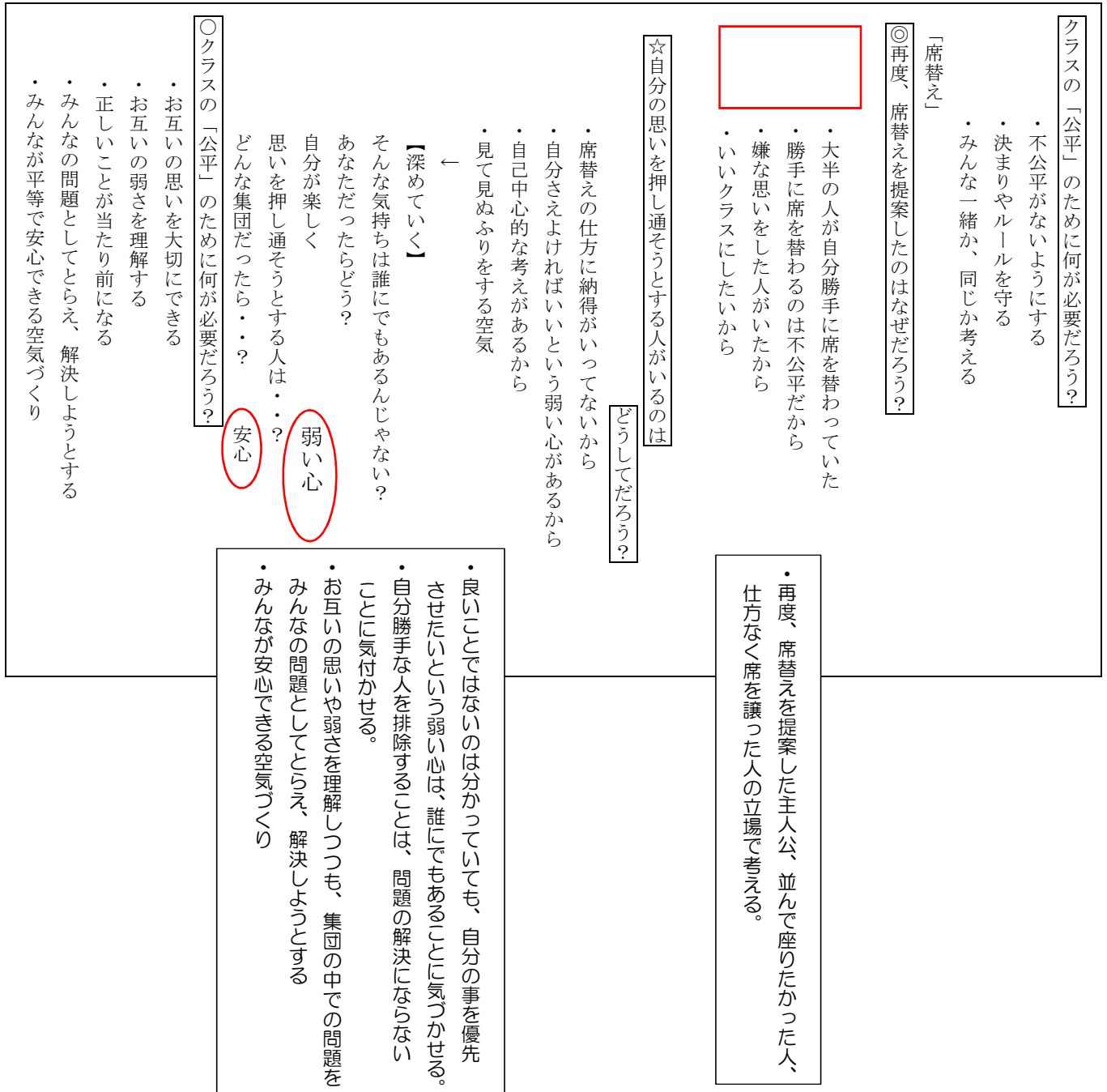
問い：クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？



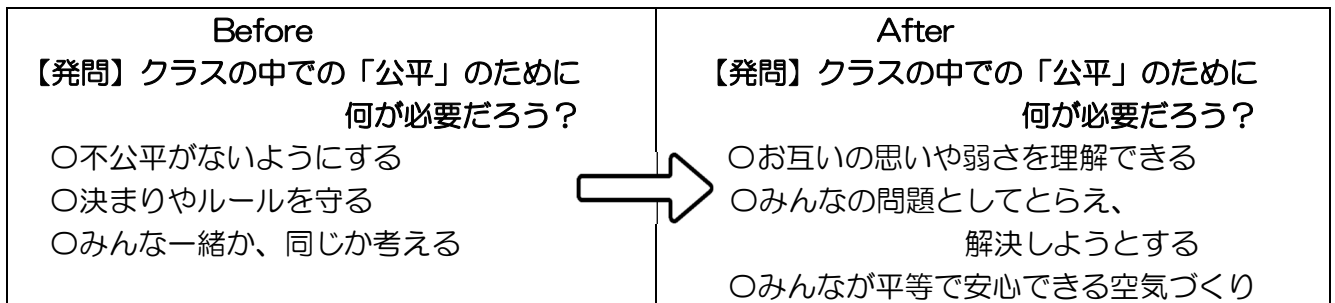
問い：「私」が、再度席替えを提案したのは、なぜだろう？

振り返り

8. 板書計画



授業づくりシート



第2学年 道徳学習指導案

令和6年10月16日(水) 第5校時
指導者 安樂 都

1 学年 2年A組(男子14名 女子18名 計32名)

2 主題名 「あきらめない気持ちで」

3 教材名 「左手でつかんだ音楽」(新訂 新しい道徳2 東京書籍)

4 ねらい

自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活を充実したものにする。息子から贈られた楽譜をきっかけに、再起を果たすまでの主人公の気持ちの変容を通して、目標を達成するためには、困難や失敗を受け止めて、希望と勇気を失わず前向きに努力し続ける姿勢や、強い意志を持って、最後までやり遂げようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

A(4) 希望と勇気、克己と強い意志

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

人間としてよりよく生きるために目標や夢を持つことは大切である。生涯をかけて理想や目標を持ち、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けることが、人生の充実につながる。

目標の実現には、様々な困難を乗り越えなくてはならない。逆境から立ち直り、目標に向かって努力し続けるには、困難や失敗を受け止めて希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められることを理解し、困難や失敗があっても、それを乗り越え、最後までやり遂げようとする意欲や態度を養う。

(2) 生徒の実態について

中学2年生のこの時期は、部活動など学校生活で中心的な役割を担うことが増え、主体性を発揮できる反面、困難や失敗に直面することも多くなる。本校の生徒は、男女での交流が難しい場面もあり、全体指導の際、自発的に発言し意見を述べる生徒はごくわずかで、積極性に欠ける一面もある。目標に向かって頑張ることのできる生徒もいるが、困難にぶつくと消極的になり途中であきらめてしまう生徒もいる。夢の実現や目標の達成に困難や失敗はつきものであり、そこから逃げるのではなく、自分自身の弱い心と向き合い、勇気や希望を持って挑戦する姿勢や、目標を持ち続けることの大切さに気付かせたい。

(3) 教材について

懸命にリハビリに励むも回復しない右手に絶望しかけたピアニストの主人公が、息子から贈られた「左手のための三つの即興曲」を弾くことで新たな希望を見だし、再起を果たす実話である。

夢や目標を実現するためには、挫折に打ち勝とうとする心や、困難があってもそれにとらわれない柔軟な思考、さらに、目標を持ち続け、それに向かって前向きに努力することで生まれる充実感に気付くことのできる教材である。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>めあて</p> <p>○困難を乗り越えるために大切なことは？</p> <p>1. これまでの自身の経験から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない ・原因解明 ・気にしない ・たくさん練習する ・現実をうけとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名 (全体で共有)
展開 40分	<p>2. 内容の確認をする。→ その後、深める。</p> <p>○ 右手が動かなくなった時の舘野さんの気持ちは？</p> <p>☆自分だったらどうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶望 ・何もする気が起きない ・最悪 <p>☆絶望の中でもリハビリを続けたのはなぜ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノが好きだから ・両手で弾きたい ・あきらめられない <p>ロイロノートで心情円を用いて考える。(絶望は青、それ以外の感情はピンク)</p> <p>◎「泣けてきた」のはどうして？</p> <p>自分の考えをまとめやすくするためにワークシートに記入し近くの人と交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しい。 ・ピアニストとしての道が残されていることに気付いたから。 ・まだ音楽ができるかもしれないと思って息子に感謝の気持ち。 ・両手で弾くことだけがピアノではないと気付いた。 ・新しい目標ができたから。 ・新しい夢を見つけたから。 <p>【深めていく】</p> <p>☆なぜ夢・目標を持つことが大事なんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションが上がる ・達成感を感じられる ・自信が付く ・前向きになれる ・成長できる ・努力を続ける意欲がわく <p>☆夢や目標を達成するために大切なことって何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に叶えるという強い気持ち ・自分に負けずに前向きに頑張る気持ち ・やる気 ・忍耐力 ・根気強さ <p>○困難を乗り越えるために大切なことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を持ち続ける。 ・努力し続ける。 ・困難があってもあきらめないで挑戦し続ける。 ・あきらめないという強い意志を持ち続ける。 ・困難や失敗の解決方法を柔軟に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容をより深く理解するためにあらすじをパワーポイントで確認。 ・主人公の気持ちに共感させるために自我関与の補助発問。 ・あらすじの確認 ・ペアで交流する。 ・自分の言葉で発表できるように、ワークシートは裏向ける。 (キーワード) 夢・目標・希望・挑戦 ・考えを深めるために生徒から出てきたキーワードから切り返す。 ☆できなかったことができたようになったことで新しく何が持てるようになったんやろう <p>◇困難から逃げるのではなく、あきらめないという強い意志を持ち、努力し続ける大切さに気付くことができる。</p>

終 末 5 分	<p>3. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。 音楽をかける
------------------	--	--

7 評価について

目標や夢の実現には、困難はつきものであるが、そこから逃げるのではなく、困難に打ち勝とうとする心や、勇気や希望を持って挑戦し続ける姿勢、目標を持ち続けることの大切さに気付く。(発言・ワークシート)

8 板書計画

- ・モチベーションが上がる
- ・前向きになれる
- ・自信がつく
- ・達成感がある
- ・努力を続ける意欲がわく

「泣けてきた」のはどうして?

・嬉しい

・新しい目標ができたから

・まだ夢は叶えられるかもと感じたから

・ピアノリストとしての道が残されてる

・両手で弾くだけがピアノではない

・息子への感謝

・息子に恩返し

「左手でつかんだ音楽」

困難を乗り越えるために大切なことは?

- ・あきらめない
- ・原因解明
- ・現実を受け止める
- ・気にしない

困難を乗り越えるために大切なことは?

・努力し続ける

・あきらめないで挑戦し続ける

・目標を持ち続ける

・強い意志を持ち続ける

夢・目標

絶対に叶えるという強い気持ち

あきらめない

前向き

根気強さ

忍耐力

自分に負けず

前向きに頑張る気持ち

困難

「泣けてきた」のはどうして?

・絶望

・何もする気が起きない

・最悪

リハビリ

・ピアノが弾きたい

・ピアノが好き

・挑戦することをあきらめたくない

授業づくりシート

<p style="text-align: center;">Before</p> <p>【発問】 困難を乗り越えるために大切なことは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あきらめない。 ○現実を受け止める。 ○気にしない。 ○原因解明。 	➔	<p style="text-align: center;">After</p> <p>【発問】 困難を乗り越えるために大切なことは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標を持ち続ける。 ○あきらめないで挑戦し続ける。 ○乗り越えるという強い意志を持ち続ける。 ○困難にとらわれず柔軟に考える。
↓		↑
<p>【中心発問】</p> <p>◎「泣けてきた」のはどうして?</p>	➔	<p>【補助発問】 (深めていく)</p> <p>☆なぜ夢や目標をもつことが大切なんだろう?</p> <p>☆夢や目標を達成するために大切なことはなんだろう?</p>

左手でつかんだ音楽 (教科書p.144~148)

○ 「泣けてきた」のはどうして？

Blank area for writing an answer to the question above.



○ 困難を乗り越えるために大切なことは？

Blank area for writing an answer to the question above.

○ 振り返り

Blank area for writing a reflection or summary.

研究授業を終えて【令和6年10月16日(水)安樂教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・時間配分が適切であった。
- ・パワーポイントで写真等を使用することで、教材確認をスムーズに行うことができた。
- ・めあてについて考えを深めることができる板書であった。

【授業者の様子】

- ・テンポよく授業を進める場面と、じっくり待つ場面があり、メリハリのある授業であった。

【生徒の様子】

- ・自分の意見を積極的に発表することは難しい場面もあったが、ワークシートでは自分の思いをしっかりと書くことができていた。
- ・非常に落ち着いており、指名されたときは自分の意見を発言できた。

課題

【授業デザイン】

- ・近隣の生徒との意見交流だけではなく、グループ活動などを効果的に取り入れ、よりわいわいがやがやとした環境作りが必要であった。
- ・ICTで心情円を活用したが、中心発問の内容と心情円の内容が重複しており、心情円の効果的な活用ができていなかった。
- ・中心発問までに主人公の「絶望」をおさえておく必要があったが、「絶望」の捉え方が浅い状態で中心発問にうつってしまったために、第三層まで深めることができなかった。自我関与に関する発問のタイミングなど、もっと主人公の「絶望」を感じることができる場面で発問するべきであった。

【授業者の様子】

- ・教師対生徒の受け答えが多く、全体への問い返しができていなかった。
- ・教師が喋り過ぎてしまい、ファシリテーター役に徹することができなかった。
- ・生徒同士のやりとり中心の授業ではなく、教師が指名してしまう場面が多かった。普段から積極的に発言をする生徒達ではないため、生徒同士で活発に話し合いができる工夫をする必要があった。

【生徒の様子】

- ・コの字型の座席にすると、目配せをする生徒が見られた。
- ・意見交流の際に、ワークシートを裏向けさせても、自分の意見を確認するために見てしまう生徒が見られた。